

AJU 愛光園だより

～私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします～



編集者: 社会福祉法人 愛光園 企画総務部

愛知県知多郡東浦町緒川東米田33番3

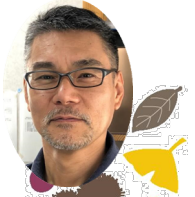
TEL 0562-83-9835 FAX 0562-83-4344

URL <http://www.aikouen.jp/> E-mail honbu@aikouen.jp

第156号

仲間たちのその人らしい生活を求めてできること

地域生活支援センターりんく 松澤 賢治



障がい者活動センター愛光園からりんくに異動してきて1年半になりますが、異動してきた時に愛光園だよりに、「ホーム生活の中で仲間たちがその人らしい生活を送っていけるように、仲間たちの思いに寄り添いながら一緒に歩んでいきたい。」ということを書かせて頂きました。私が愛光園に就職してから30年経ちますが、その間仲間たちと一緒に過ごしてきて、仲間たち一人ひとりがその人らしい人生を、生活を送ることができたのだろうかと思うと、様々なことを一緒にやってきたことは浮かんでくるのですが、それが本当に仲間一人ひとりのその人らしさになっていたのだろうか、私自身の中では答えが出ない非常に難しいところです。

今、ホームスタッフで、仲間たち一人ひとりの日常の生活に、少しでもそれぞれの色を添えていこうという取り組みをしています。共和ホームでちょっとした外出ができるように土・日曜日にりんくに車を置くようにしました。それにより、「今日はスタッフの人数がいるので外出できそうだね」といって、その場で仲間たち一人ひとりに確認してプチ外出でイオンやアピタに買い物やランチをしに行ったり、また、追分ホームでは、近くの洋菓子店にケーキを食べに行ったり、本屋さんに欲しい本を買いに行ったりして、休日に出かけることもし

ています。最近の出来事ですが、愛光園の陶芸のグループが常滑焼まつりに出店しました。「店番をするときの服を買いに行きたいね。」と本人さんと話をし、スタッフが数冊メンズの洋服の本を買ってきました。その本を本人さんと一緒に見ながらどんな服がいいか、数人のスタッフが聞き取りをして、平日に愛光園を少し早帰りしてイオンに買い物に行くこともありました。まだまだありますが、今年70歳で古希を迎える方がみえますが、ドライブと食べるのが好きな方なので、そのことを盛り込んだ1泊2日の旅行に行く企画も、古希のお祝いとして立てています。外出のことはばかり書きましたが、それだけではありません。休日にランチのメニューを仲間たちと考え、ワイワイガヤガヤと一緒に楽しみながら調理することもあります。

仲間たちのニーズにすべて応えていくことはできませんが、スタッフたちは仲間たちの生活を考え、現在の体制の中で少しでも応えていけるようにと取り組んでいます。更に「まだ他にみんながやりたいことができるといいよね。」という意見も出ています。もっと何かができないだろうかと思いが出てくることはとても嬉しく感じます。

障がいがあるとなかろうと人の性格は様々です。頑固な人、職人気質で一つのことを突き詰めていきたい人、飽き性で色々なことをやってみた

いと思う人、家族が大好きな人などなど。趣味・嗜好も人それぞれです。私がこの仕事についてから一緒に過ごしてきた仲間たちのことをどれだけ知っているのだろうか。本当にわずかなことしか分かっていないのだろうかと思っています。

仲間たち一人ひとりの人生が、生活が、その人らしい色に染まっていく。鮮やかな色一色の帯となっていく人、虹のようにいろんな色の帯となっていく人、それはその人らしさによって変わってくると思います。仲間たち一人ひとりがその人らしさが溢れ出ている、滲み出ている人生を、仲間たち

に向き合い、心に寄り添い、様々な思いに揺さぶられながら一緒に歩いていき、築いていけることを願っています。また加齢に伴って身体的な状況が変化し、健康面に対する配慮も大きくなってきています。その健康面を十分に配慮しながら、仲間の状態にできるようにしていけることを願っています。合わせて、「これがやりたい」「あそこに行きたい」という強い思いの一つでも二つでも応え、実現できるようにしていけることを願っています。

仲間たちのその人らしい生活を求めて。

リンさん & レさん ようこそ! 愛光園へ!!

10月から、ベトナムより技能実習生として食事サービスセンターで働いています。

とっても頑張り屋さんでかわいいお二人にインタビュー!



ファン ティ トウイ リン さん

- ① 趣味は何ですか?
料理です。
- ② 好きな日本食はありますか?
“おにぎり”と“うどん”が好きです。
- ③ 日本で行ってみたいところは?
富士山へ行ってみたいです。
- ④ ベトナムはどんな国ですか?
にぎやかできれいな国です。
- ⑤ おすすめのベトナム料理は何ですか?
コーヒーとフォーとパンケーキです。
- ⑥ 愛光園の印象はどうですか?
みんなが親切です。
職員がフレンドリーです。
- ⑦ 将来の夢は何ですか?
日本で働きたいです。



グエン ティ レ さん

- ① 趣味は何ですか?
料理を作ることです。
- ② 好きな日本食はありますか?
“てんぷら”と“ラーメン”です。
- ③ 日本で行ってみたいところは?
富士山へ行ってみたくて、桜を見たいです。
- ④ ベトナムはどんな国ですか?
いろいろなところがきれいで、海がたくさんあります。
- ⑤ おすすめのベトナム料理は何ですか?
フォーとかブンチャーとかパンケーキとか・・・
*ブンチャーとは、ブンという米粉からできた丸い麺とベトナムの定番調味料ヌックマム(魚醤)ベースのつけ汁と絡めて食べるベトナムの定番麺料理です。
- ⑥ 愛光園の印象はどうですか?
とても広くて、人が多くて、職員がとても熱心だし、親切だし、優しいです。
- ⑦ 将来の夢は何ですか?
料理の店を作りたいです。

第15回 社会福祉法人愛光園 実践発表会 開催のご案内

多くの皆様からの日頃のご支援に感謝を込めて、今年度も実践発表会を開催させていただきます。

15回目となる今回のテーマは「助けあい・認めあう共生社会～自立支援を目指して～」としました。一人ひとりのその人らしい生き方には、それぞれの自立した生活があります。そこに視点をあて、日頃の実践を振り返り検証していくことによって、私たちの役割を見つめ直し、今後の実践に生かしてきたいと考えています。是非、お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い致します。

【テーマ】「助けあい・認めあう共生社会 ～自立支援を目指して～」

1. 日 時 2019年12月14日(土) 13時から15時50分

2. 場 所 あいち健康の森プラザホール
知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1

3. プログラム

13:00 開会挨拶・座長挨拶

13:15 実践発表① 介護老人保健施設相生 通所リハビリテーション
『通りハお引越しプロジェクト
～「出来る事は自分で」行える環境を目指して～』

13:45 実践発表② 地域生活支援センター りんく
『恵利也さん、お帰りなさい
～医療的ケアと向き合うホームでの暮らし～』

14:15 休 憩

14:30 実践発表③ あったか生活支援センター
『発信者としての本人を考える
～終末期の「その人らしさ」を支えることからの学び～』

14:55 全体質疑応答

15:40 閉会挨拶

15:50 終 了

4. 参加費 無料(下記の参加申込書をご送付ください。)

5. 主 催 社会福祉法人愛光園 ひかりのさとるの会



昨年の様子



参加申込書 (切り取り不要、この用紙のままで結構です。)

申込先 社会福祉法人愛光園 法人本部 FAX 0562-83-4344



代表者ご連絡先:(氏名)

(TEL)

ご所属等	お役職等	お名前	フリガナ

参加申し込みは2019年11月29日(金)までに、FAXもしくは上記のQRコードにてお申し込み下さい。

<お問い合わせ> 法人本部:深谷まで TEL 0562-83-9835



ベトナムを訪れて 2019年9月6日~12日

業務執行理事・企画総務部長 日高 啓治

セントレアからホーチミン経由で最初の滞在先都市となるフエの空港に到着したのは、午後7時過ぎになる頃(時差はマイナス2時間)。空港からホテルまでのタクシーの車内で私たちは何度も「わあ〜!」と悲鳴をあげていました。それでも片側2車線と思われる車道を無数のバイク(単独~タンデム~3人乗り)の間を掻き分けるように繰り返すクラクションを鳴らしている運転手は頓着せずに、右側通行の車道の中央分離帯よりの先行車を何故か右の路肩側から、そのバイク群を蹴散らすように追い越しを試みるのでした。何か急いでいるかといぶかっていると突然タクシーはガソリンスタンドに乗り入れ、運転手は私たちに何も告げずに給油を始めました…?タクシーが市街地に入ると、沿道では露店が無数に並び、そこでは飲食しながら一日の終わりを穏やかに過ごす人々の様子が見受けられました。交差点の多くは信号の無いロータリー形状で、相変わらずクラクションを鳴らしつつ走る車やバイクを縫うように歩行者が平然と横断しているのが、また驚きの光景でした。ホテルに着くと今回の旅程の多くの部分を共にするメンバーが顔を揃えました。

今回の視察研修は、この数年規模等が近い社会福祉法人として情報共有と意見交換の機会を設けている、ゆたか福祉会、名古屋ライトハウス、愛光園からの役職員10名と、法政大学現代福祉学部の佐野准教授とそのゼミ生7名が参加しました。また、現地ではフエ市に拠点があるNPOのEnjoyable Englishの若きメンバー4~5名が訪問先との調整と案内役を担ってくれました。訪れたフエ科学大学では日越の福祉人財の養成に関する連携を模索し、10か所ほど予定されて

いる福祉施設・事業所ではその現状を知ることが目的となっていました。

フエ科学大学では、今回の訪問を企画し、お誘いいただいたゆたか福祉会の鈴木清覚理事長のご尽力により、副学長、社会福祉学部長をはじめとする同大幹部との面談が実現しました。この際の協議により、将来学内で福祉・介護に関する課程の実施に三法人が協力し、また卒業生が来日して一定期間現場での経験を積むプログラムが創設できないかを検討していくことになりました。アジアにおける福祉人財養成に向けた展望を共同してすすめていきたい、との鈴木理事長の熱い思いが実現に向けて一歩前進することになりました。

そのほか訪問先の障がい児者が活動する施設では、私たちのような細かな制度別の対応を当たり前と感じている者からすると、間口の広さとか多様性というものを超越した、誤解を恐れずに言うなら何でもありの誰でも来なさいの寛容さを見せつけられました。それぞれに熱心でそこに信念を感じさせるリーダーが引っ張っていきこうとする姿であるとか、前向きに誇らしげに活動や創作に向かう利用者の様子には、圧倒される迫力があり衝撃を感じました。簡単にダイバーシティとかインクルージョンと分かったように言っていた自分が恥ずかしく思えるような強烈な経験でした。

一見混沌のように感じたバイクの集団、クラクションを鳴らし走る自動車や、それらをかわしながら泳ぐように横切る歩行者は、それぞれがお互いを認め合い許し合っている、だからこそ成り立っている情景なのだと思います。かくもベトナムは奥深い、と感じた今回の訪問でした。

フエ科学大学 社会福祉学部の学生さんと



露店で味わった
野菜たっぷりのフォー!

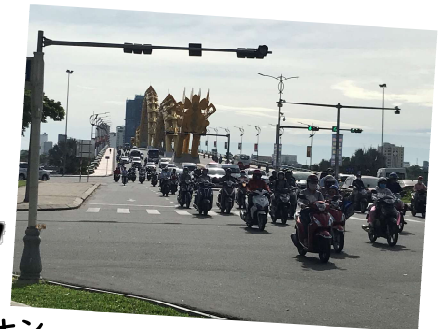


工房のような授産所



美味だった極彩色のワタリガニ

就労支援 (線香づくり)



ベトナム第3の都市ダナン
~バイクでの出勤風景

世界遺産ミーソン遺跡



フエ・ホープセンターにて

世界遺産
ホイアン旧市街

施設の厨房内かまど



愛光園の夏

愛光園の各所から、夏祭りのレポートが届きました!



8月9日 障がい者活動センター愛光園
野口 真幸



8月23日 大府市発達支援センターおひさま
深谷 和香

「令和元年 愛光園夏祭り開催!!」

愛光園夏祭りは、毎年8月上旬の金曜日に行われています。今年は8月9日に開催。仲間からの意見で午前には各グループからの出店を行い、午後は、これも仲間からの希望が多かったゲストさんをお招きしてのコンサートとして、東浦町を中心に活動されているバンドグループ「夢風船」さんにお声をかけ、来ていただきました。午前の出店ではポッチャを使ったオリジナルゲームや射的、ひも引きゲーム、ピンボールゲームを行いました。仲間・スタッフが協力し合って作り上げたお店はどこも大盛況でした。ゲームの景品も健康ジュースやスムージー、豆乳ワッフル等どれもおいしく体にやさしい味でした。

お昼のメニューは、食事サービスセンターに焼きそば・からあげをリクエストして、プラスのデザートとしてユニークな施設長のお店を毎年開いているのですが、去年はパフェ、今年は杏仁豆腐、アイスクリーム、プリンを出しました。

午後の夢風船さんのコンサートは、素晴らしい歌声にうっとりする仲間や知っている曲では歌ったりしている方もいらっしゃいました。

今年度の夏祭りも仲間の皆さんの笑顔がたくさん見ることができました。来年度も素晴らしい夏祭りを実施できるよう、仲間・スタッフ協力し合っていきたいと思えます。

8月23日におひさまの恒例行事、夏まつりが開催されました。在園児やOBの子どもとそのご家族、お世話になっている関係者の方々、約220名の参加があり、賑やかなお祭りとなりました。

当日はあいにくの雨でしたが、夏まつりを楽しみにしていた子ども達の思いが通じたようでお祭りが始まる頃には雨が上がりました。園庭の芝生が濡れて滑ってしまう為、お店やタベの会、盆踊りは室内で行いましたが、園庭で元気に走る子どもの姿もありました。

いつもと違う雰囲気の中、戸惑いや緊張の表情を見せる子もいましたが、お母さんやお父さんと一緒にお祭りの雰囲気を味わってくれたでしょうか。OBの子どもの中には元担任の姿を見て照れる子や、元気に挨拶して成長した姿を見せてくれる子もいました。

お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんとゲームをしたりチキンライスやポップコーン、ジュースやアイスを食べたり、思い思いに楽しんだ後は盆踊りです。プレイルームに集まり大きな輪になって炭坑節を踊りました。プレイルームの外から見ていた子も音楽を聴いて楽しい気持ちになってくれたかな。

子ども達もドキドキワクワクしたと思いますが、職員もいつもと違う子ども達の様子を見られて楽しい行事となりました。



8月24日 ひかりのさと

夏祭り実行委員 山口 晋史(まどか)

年号が令和に変わり初めての夏祭り!

ここ数年は地域へ向けての夏祭りとして法人委員会にて夏祭りを企画、運営してきましたが、各事業所の事情により法人委員会としての運営が厳しくなりました。しかし、何もなくなるのはちょっと寂しいということで、以前のひかりのさと夏祭りのようにひかりのさとの会が主となりながら法人の若手職員から実行委員を有志で募り、規模も縮小してではあるがご利用者や職員が楽しめるようなイベントを企画することになりました。今回は模擬店の数こそ少なく、例年と比べると物足りなさを感じたかもしれませんが、会場も幅広く使いゆったり過ごせるようにし、スクリーンを使うことで遠くからでもステージを楽しめるような工夫をしました。

ステージイベントでは愛光園・まどか職員のコラボユニットの演奏に、ホーム利用者さんが飛び入りで参加し歌を披露したり、浴衣ファッションショーでは利用者さんがなんとも素晴らしい浴衣姿でランウェイを歩き、各事業所の職員やご家族からの声援を浴びながらとても輝いていました。他にものぞみの家のダンスグループによるキレイのダンスや、模擬店では愛光園の木エグループがつくった手作りゲームなども好評で、最後は夏らしくみんなで輪になり盆踊りを踊って終了。

天気も何とか最後までもち、とても良い夏祭りとなりました。

8月28日 高齢事業部

夏祭り実行委員長 本谷 悠登(相生)

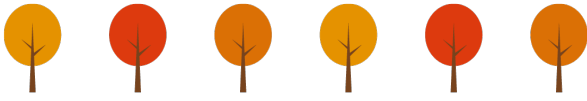
8月28日に高齢福祉事業部の夏祭りが開催されました。今年は、より多くのご利用者に参加していただきたく初めての昼間の開催としました。場所も暑さを考慮して屋内での開催でした。当日の天気はあいにくの雨でしたが、多くの参加があり、非常に活気のある賑やかな夏祭りとなりました。

ステージでは“タップリンさん”がマジックショーを、“山ちゃんと仲間たち”がギター演奏を披露してくださいました。子供たちによる剣舞では、迫力に圧倒され皆様が感心してご覧になっていました。職員による三線の演奏や歌の披露では、馴染みの職員の登場という事で皆様大いに盛り上がっていました。そして最後は毎年恒例の“東楽会さん”と“卯の里獅子舞連さん”の盆踊りでした。相生ホールいっぱいの輪を作り、炭鉦節や東浦音頭の音楽に合わせて皆で楽しく踊りました。

“相和福社会さんのうどん”、“もちの木園のもちの木焼き”、射的や綿菓子、かき氷等の出店も大変好評で賑わっていました。「昔懐かしいわ。子どもの時以来。」と童心に帰って楽しめる姿も見受けました。

初めてづくしの夏祭りでしたが、ご利用者、ご家族、ボランティア、職員の皆様のご協力で大成功となりました。ご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。来年も更にパワーアップした夏祭り皆様と思い出を作りたいと思います。

おしらせ




第45回

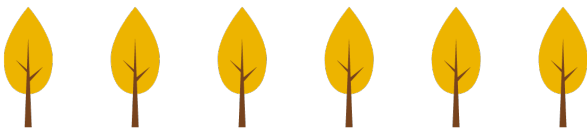
ひかりのさとバザー

日時：2019年11月3日(日)文化の日
10時～12時

場所：ひかりのさとのぞみの家周辺

お車でお越しの方・・・ 
駐車場は、係員の誘導に従って
ご利用ください。

お問い合わせは、企画総務部まで
TEL 0562-83-9835



ホームページやFacebook
も随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください！



障がい者活動センター愛光園

『感謝の集い』

30周年記念式典のご案内

2019年11月19日(火)

記念式典

時間 10時30分より

(※受付開始午前10時)

場所 障がい者活動センター愛光園

祝賀会

時間 12時45分より

場所 ひかりのさとファームレストラン

お問い合わせは
障がい者活動センター愛光園
担当：清水・水口まで
TEL 0562-84-8307

※154号で時間を、10時45分～12時15分 受付開始10時30分～ とご案内しましたが、変更になりました。ご注意くださいますようお願い申し上げます。



ひかりのさと アクセスマップ



- ▶ JR東海道線大府駅下車、タクシー（15分）が便利です
- ▶ 東浦町営バス（うらら）停留所「相生の丘」から徒歩2～5分

